

那須野原導入野菜選定試験（新作目導入試験）

1. 試験のねらい

国営那須野原総合農地開発事業によって整備された畑地に野菜の産地化を図るべく、比較的冷涼な気候と観光地としての立地条件、さらに、火山灰土で耕土の少ない土壌条件などに適した野菜の作目・品種と作型について昭和61年度から検討を行っている。

2. 試験方法

表-1のように61年度はビール麦跡の畑で10作目の適応性を検討し、62年度はキャベツ・ブロッコリー・レタスの3～4月まきと、かぼちゃの4～6月まきの適応性を検討した。なお、ブロッコリーのは種期試験（61年度）とレタスの6～7月まき品種選定試験（62年度）を別途行ったが、関連があるので表-2に示した。耕種方法は本県の耕種基準に準じた。

3. 試験結果及び考察

61年度は5月中旬から8月中旬が低温、8月下旬から10月上旬が高温に経過したので、なすとえだまめ以外の比較的冷涼な気候を好む作目には適した年であった。標高345mの黒磯分場で適応性が確認できた作目及び作型は、だいこんの8月下旬まき、キャベツの5月下旬～6月下旬まき、リーフレタスの6月中旬～7月中旬まき、結球レタスの7月中旬まき、えだまめの6月中旬まき、スナップえんどうといんげんの6月中旬～7月上旬まき、なすとミニトマトの5月中旬まき、及び、ほうれんそうの7月中旬～8月中旬まきであった。だいこんの7月中旬まきは軟腐病、結球レタスの6月中旬まきは中肋突出球と腐敗病が多発し、産地化を図るには耐暑・耐病性品種の検討と、より標高の高い地帯での検討が必要と思われた。メロンは発芽が遅れたために定植も予定より約半月遅れ、従って生育後半は低温にあって果実が十分成熟できなかった。生育が順調であれば7月上旬まきで十分と思われた。また、ブロッコリーは5月上旬～下旬と6月下旬～7月上旬まきの適応性が確認できた。

62年度は4月から7月が高温、8月から9月がやや低温に経過し、4月と6月は寡雨で、冷涼な気候を好む作目には必ずしも適した年ではなかった。しかし、供試4作目についてはいずれも適応性が確認できた。結球レタスの6月中旬まきは、前年度良くなかったので品種選定試験を行ったところ、ユウレイクス・ケイズルなどを用いれば真夏にも良品生産のできる事が確認できた。

4. 成果の要約

那須野原の比較的冷涼な気候に適した野菜の作目と作型を知るため、61年度は夏秋作で11作目（含、ブロッコリー）、62年度は春夏作で4作目を検討した結果、キャベツの3月下旬～6月下旬まき、レタスの3月下旬～7月中旬まき、ブロッコリーの3月下旬～5月下旬まきと6月下旬～7月上旬まき、かぼちゃの4月上旬～6月上旬まきのほか、だいこん・えだまめ・スナップえんどう・いんげん・なす・ほうれんそう・ミニトマト・メロンの一部の作型について適応性を確認した。

（担当者 黒磯分場 村上文生）

表-1 作目及び作型と適応性

作目(品種)	は種年・月・日	定植月・日	収穫期間月・旬	収量kg/a	適品種
だいこん (快進総太ほか4品種)	61. 7.16 8.28	—	9.上~中 11.中	51~263 463~694	— 快進総太・精鋭青首
キャベツ (南宝ほか6品種)	62. 3.24	4.30	6中~下	393~571	みさき・グリーンボール
	4.23	5.22	7.上~中	357~500	〃
	61. 5.30	7. 4	8.中~9上	321~750	南宝・グリーンボール
レタス (61年度は結球レタス3品種 リーフレタス2品種62年度 は結球レタス8品種)	61. 6.18	7.23	8中~9上	112~150	レッドウェイブ
	62. 3.24	4.30	6.上~中	281~394	カイザー・オンタリオ
	4.23	5.22	6.下~7上	336~424	オリンピア・バラード
	7.18	8.19	9.中~10上	137~254	バラード・レッドウェイブ
えだまめ (駒みどりほか12品種)	61. 6.18	7. 4	8.下~9上	43~69	駒みどり・グランプリ・ 宝石
スナップえんどう (ジャッキーほか3品種)	61. 6.18	7. 4	8.中~10中	21~50	ジャッキー
	7. 4	—	8.下~10中	10~34	ホルンスナック
いんげん (はつみどりほか2品種)	61. 6.18	7. 5	8.上~10中	217~244	はつみどり・ケンタッキーワ ンダー・夏秋ケンタッキー
	7. 5	—	8.中~10中	128~166	
なす (千両2号ほか7品種)	61. 5.10	7. 8	8.上~10中 ~14	186~391	万両・竜馬・くろわし
ほうれんそう (メイクリッチほか2品種)	61. 7.16	—	8.中	3~92	メイクリッチ
	8.16	—	9.中	66~124	晩抽バイオニア
ミニトマト (レッドベアほか2品種)	61. 5.20	7.15	8.下~10下	130~365	チェルシーミニ
メロン (アンデスほか3品種)	61. 7. 5	8.18	11.上	0.8~ 1.2kg/個	—
ブロッコリー (緑嶺ほか3品種)	62. 3.24	4.30	6.中~下	114~172	緑嶺
	4.23	5.22	7.上~中	136~174	〃
かぼちゃ (みやこほか2品種)	62. 4.10	5.11	7.中~	32~391	みやこ・えびす
	5. 9	6. 8	8.中~	267~570	〃
	6.10	7. 7	9.上~	138~396	〃

表-2 ブロッコリーのは種期試験とレタスの品種選定試験結果

作目(品種)	は種年・月・日	定植月・日	収穫期間月・旬	収量kg/a	適品種
ブロッコリー (シャスター 緑嶺)	61. 5.10	6.13	8.上~中	106~120	緑嶺
	26	6.27	8.中	81~85	シャスター
	6.10	7. 8	8.下~9上	—	—
	25	7.24	9.下~10上	91~106	緑嶺
	7.10	8.11	10.上~11上	92~130	シャスター・緑嶺
レタス (GL3204ほか23品種)	62. 6.17	7.10	8.上~中	約250	ユウレイクス・ケイズル・ ユニバース・サンレタス・ エクソードなど
	7.17	8.11	9.中~下	〃	